

乾杯



芙蓉会会長

守屋 敏道

皆様こんばんは。芙蓉会の守屋でございます。毎年恒例によりまして、芙蓉会の会長が乾杯の発声をさせていただいており、光栄に存じます。

本日は、技監のご挨拶にもございましたように、特許審査部幹部の皆様が異動され、新しい体制で新たに取組みをされるということで大変喜ばしいことと存じます。お祝いを申し上げます。それから、新たに86名の優秀な新人が入庁されて特技懇新会員になられたということで、これからのご活躍を切に期待しております。

私共芙蓉会は、司会の方からご紹介がありましたように、特技懇のOBで構成される会になっておりまして、芙蓉会のほとんどの会員は、今も特許、意匠関係の仕事に従事しております。特に、知財制度の中核をなす審査、審判という重要な業務に密接に関係した仕事をしておりますので、特技懇の会員の皆様が審査・審判実務において常に輝いて世界をリードしていただくと、OBの仕事もまた活気づきますし大変嬉しいことですので、皆様方の益々のご活躍をご期待申し上げます。

それからもう一つ、先ほど長官、小柳新特許技監から、世界最速、最高品質の審査・審判の実現というお話がございましたが、私はもう一つ加えて、特技懇の審査官の皆様には、世界最速とともに、世界で一

番最初に最高品質の審査をすることで世界のリーダーシップをとっていただきたいと思っております。二番目は一番目と比べられて何かと批評され、必ずしも良い評価を受けるとは限らないので、世界で一番最初に審査をすることを目指し、世界最速、最高品質の審査で世界をリードするよう頑張りたいと思います。そういうことをご期待申し上げまして、ご指名の乾杯に移らせていただきます。

それでは、特許行政がますます発展し、それから世界最速、世界で一番最初に最高品質の審査を目指して新人の方々を含めて特技懇の皆様が活躍されること、また本日ご列席の皆様方のご健勝を祈念して乾杯を致しますと思います。ご唱和ください、乾杯！

